

Book List for Technologists
—もの大学教員が学生に薦める本—

推薦教員： 町田 由徳

推薦図書①

タイトル	「もの」はどのようにつくられているのか？ —プロダクトデザインのプロセス事典
著者	Chris Lefteri (著), 田中 浩也 (監修), 水原 文 (翻訳)
出版社	オライリージャパン
推薦理由	
金属、樹脂、セラミック、ガラス等を素材とした量産製品について、その製造方法を実例とイラストでわかりやすく解説した事典です。 パラパラとめくって見るだけでも、「身近にある製品がこんな方法で作られていたのか！」と新たな発見があり、ものづくりに対する新たな興味が湧くことと思います。	

推薦図書②

タイトル	メカニズムの事典
著者	伊藤 茂 (編集)
出版社	オーム社
推薦理由	
様々な「動き」を生み出す機構をイラストで解説した事典。読むとこれらのメカニズムを生み出してきた先人達の叡智に驚かされます。 本書は 1912 年に出版された「機械の素」(浅川権八 著)を再編集したもので、現代ではあまり見られない、19 世紀の色が濃い機構も多数登場しますが、それもまた楽しめるポイントです。	

推薦図書③

タイトル	茶の本 The Book of Tea
著者	岡倉 天心 (著)
出版社	IBC パブリッシング
推薦理由	
「茶」を通じて、東洋文化を西洋に向けて紹介した本です。(初版発行は 1906 年) 私達が「もの」を作る際の、美意識の源泉を探る、一つのきっかけになるのではないかと思います。 著作権は既に切れているため、電子書籍では無料で読むこともでき、文章量も少ないので留学生を含め、多くの学生にお薦めできる本です。	